

3/13ダイヤ改正、短巡回・乗務員の削減反対！

1月8日に開催された業務委員会において、会社から2021年3月13日ダイヤ改正の行路・交番の説明がありました。冒頭、会社の基本的な考え方と主な項目についての説明がありました。

1. 短区間巡回の基本行路の減少
2. 乗務員の1日の基準労働時間・7時間を確保し、諸条件を極力平準化
3. 運転士養成を考慮し短回りのみの行路を確保
4. 一丁半行路数の増加
5. 例年通り年間を通じて休日を円滑に付与するために「乗務又は休日」を交番内に指定
6. 短区間巡回行路を一部の組の交番内に組み込む
7. 交番周期は全所、全組で17日周期に統一

組合は会社説明を受けて、以下の主な問題点について議論しました。

【短区間巡回行路の減少（出面数）について】

会社：基本行路の行路数を下げる。のぞみ号、ひかり号の半数設定を基本とする。五輪までは残りの半数を臨行路で賄い全列車に短巡回を設定する。

会社：全体の出面数は大阪で運転士マイナス1、車掌マイナス11となる。

組合：余った乗務員の活用はどうなるのか。

会社：検討中である。

【休日勤務について】

組合：休日出勤についてどうなってるのか。

会社：まだ決まっていない。

組合：休日出勤はあると言っていた。

会社：先のことは不透明である。

【駅異動について】

組合：2月に10名ほどと言っていた。

会社：10人程度である。

短巡回乗務員の削減・効率化は安全を脅かす行為！

車掌の3名体制を確保すること！

車掌の二人乗務により安全が脅かされています。パーサーへの負担も増えています。コロナ禍で旅客数が減っていることは理由になりません。車掌の負担軽減のために新大阪～京都間で車内巡回の乗務員を設定(東京口では東京～新横浜・小田原間)しており、二人乗務となった車内の安全や秩序を何とか保っています。

私たちは、短巡回乗務員の削減に反対です。車掌2人乗務を止めて車掌3名に戻すことは元より、安全を守るために3名の車掌(乗務員)乗り組みを基本にすることを求めます。

**ダイヤ改正について気付いた事があれば組合の所属に関係なく
東海労に連絡して下さい！**